

中学部Bグループ 国語科 学習指導案

日時	令和6年9月9日（月） 2校時		場 所	中学部1年教室
生徒	中学部1～3年生 計 5名			
指導者	T1 増田裕佳			
題材名	「相手に伝わる伝え方～ぼくの説明アカデミア～」			
題材の目標	知識及び技能 ・出来事や体調等を相手に分かりやすく伝えるために必要な事柄や語句を知る。	思考力、判断力、表現力等 ・目的に応じて、説明する事柄や順序等を整理し、より相手に伝わるように話を構成する。	学びに向かう力、人間性等 ・相手に伝わるような事柄や語句を考えたり、自分から進んで伝え合ったりしようとする。	
学習指導要領との関連「何を学ぶか」	国語 1・2段階イ（ア）P268 2段階ア（エ）P268	国語 2段階 A 聞くこと・話すことイ・ウ P271 1段階B書くことア・イP264	国語 2段階目標ウ P266	
題材の評価規準「何ができるようになるか」	知識・技能 ・出来事や体調等の説明に、必要な事柄や時間・順序・程度を表す語句を使っている。	思考・判断・表現 ・伝える事柄や順序を整理したり、理由を付けたりして、出来事や体調等を説明している。	主体的に学習に取り組む態度 ・友達や教師に伝わるように、自分から事柄や語句等を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。	

＜生徒と題材＞

生徒について * 自立活動の視点も踏まえて記載する

本学習グループは、1年生3名、2・3年生が1名ずつの計5名の生徒で構成されている。自分から友達や教師に興味のある話題を話すことが好きな生徒が多い。一方で、語彙の少なさや話す順序や使用する言葉の自信のなさから、相手に伝えることを諦める生徒や自分の体調について、相手が分かるように話すことが難しい生徒も多くいる。また、書字や姿勢の保持などに対して、苦手意識が強い生徒がいるが、ICT機器を活用したり、学習規律を掲示したりすることで、学習に向かう姿勢を整えることができるようになってきている。これまでの学習では、ゲーム要素を含んだ学習を通して、楽しみながら友達と考えや意見等を伝え合う姿が見られている。

題材について

本題材は、日常生活で想定される説明場面を中心に取り上げる。自分の体験や体調などを表現する言葉を使い、伝えたい事柄を整理することで、より相手に伝わりやすい話し方を身に付けることをねらいとしている。第一期「体験を伝えよう」では、出来事や手順を説明する際に大切な時間的な順序を表す語句や構成を学ぶ。そして第二期「体調を伝えよう」では、体調を詳しく説明する伝え方について学習をする。このように基本から応用へと段階的に難易度を上げて、相手に伝える学習を進めることで日常生活に活用できる伝え方を身に付けることができると考える。また第二期では、話したことが相手に伝わったか、あるいは相手の話を理解できたかを確認できるように、クイズ形式にして伝え合う経験を積み重ねる。これらの伝え合う学習を通して、相手に伝わったという経験を重ね、実生活においても話す事柄や順序を整理し、自信をもって相手に説明することができると考え、本題材を設定した。

指導に当たって

目標を達成するために、以下の手立てに留意し指導に当たる。

- ・生徒が日常生活で使う言葉の種類を増やすことができるよう、学習に係る言葉を取り上げ、意味や漢字練習をする「言葉ノート」を毎時間実施する。
- ・生徒が自分で話す事柄や順序等を整理することができるよう、生徒の実態に応じたワークシートやヒントカードを用意する。
- ・生徒が意欲的に取り組むことができるよう、自分の考えを書いたり、事柄を整理したりする学習では書き直しがしやすく、キーボード入力可能なアプリ「ロイロノート・スクール」を活用する。
- ・話す・聞く態度の定着を図ることができるよう、「話す・聞く三か条」を掲示し、発表する際に確認する時間を設ける。

指導と評価の計画（総時数 18 時間）

時数	小題材名 小題材の学習内容	評価の観点			評価規準【評価方法】
		知	思	主	
1～7	体験を伝えよう				- 話す事柄「いつ、どこで、だれと、何をした、どうだった（感想）」を考え、話す内容を整理したり、友達に説明したりする。 - 時間を表す語句を使って、話す内容を整理したり、友達に説明したりする。 【ワークシート、発言】
	1～4 時＜出来事＞ - 体験した出来事について、4 語文以上で説明する。 - 自分の一日について時間（いつ）を表す語句（朝、〇時、給食後、等）を使って説明する。		○	○	
	5～7 時＜手順＞ 順序を表す語句（はじめに、次に、最後に、等）を使って手順を説明する。	○	○		
8～17 (本時 16)	体調を伝えよう				- 体調不良のときは、体調「どこが、どんなだ」とその理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を話すと相手に伝わりやすいことを知る。 - 体調とその理由を伝えるために、事柄を考えたり、内容を整理したりして、説明する。 【発言、ワークシート、確認問題】
	8～12 時＜体調とその理由＞ 出来事の説明の仕方を生かし、体調（腹痛、吐き気、けが、頭痛）とその理由を説明する。	○	○		
	13～14 時＜体調の程度＞ 程度を表す語句に触れ、体調について程度を表す語句を使って説明する。	○	○		
	15～16 時＜これまでのまとめ＞ 題目から情報を整理し、理由や体調の程度を表す語句を使って説明する。		○	○	
	17 時＜保健室で体調を伝える＞ 実際の生活を想定してこれまでの学習を生かして、養護教諭に体調を伝える。		○	○	
18	18 時＜いろいろな場面＞ 実際の生活場面で学習を生かすことができるよう、様々な目的や相手を想定した題目から、話す事柄や内容を考え、説明する。	○	○		自分や他者、周りの状態など様々な題目から、相手に伝わるように話す事柄や内容を考え、様々な相手に説明する。 【発言、確認問題】

題材目標に対する個別の評価規準

「何が身に付いたか」

氏 名 (学年)	題材目標に対する個別の評価規準	学習評価 ◎○△
A (1)	・出来事や手順、体調等の説明に、必要な事柄や時間・順序・程度を表す語句を使っている。 知	◎
	・伝える事柄や順序を整理したり、より伝わるような語句や理由を加えたりして、出来事や体調等を説明している。 思	○
	・友達や教師に伝わるように、自分から目的に応じて必要な事柄や語句等を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。 主	◎
B (1)	・出来事の説明に必要な事柄「いつ、どこで、だれと、何をした、どうだった」や時間を表す語句を使っている。 知	◎
	・伝える事柄を整理したり、理由を加えたりして、出来事や体調等を説明している。 思	○
	・友達や教師に伝わるように、目的に応じて事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。 主	◎
C (1)	・出来事の説明に必要な事柄「いつ、どこで、だれと、何をした、どうだった」や時間を表す語句を使っている。 知	◎
	・伝える事柄を整理したり、理由を加えたりして、出来事や体調等を説明している。 思	○
	・友達や教師に伝わるように、目的に応じて事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。 主	◎
D (2)	・出来事や手順、体調等の説明に、必要な事柄や時間・順序・程度を表す語句を使っている。 知	◎
	・伝える事柄や順序を整理したり、より伝わるような語句や理由を加えたりして、出来事や体調等を説明している。 思	○
	・友達や教師に伝わるように、自分から目的に応じて必要な事柄や語句等を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。 主	◎
E (3)	・出来事や体調等の説明に必要な事柄や時間・程度を表す語句を使っている。 知	◎
	・伝える事柄や順序を整理したり、理由を加えたりして、出来事や体調等を説明している。 思	◎
	・友達や教師に伝わるように、目的に応じて必要な事柄を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。 主	◎

【学習評価】 評価基準：◎十分達成した ○おおむね達成した △まだ十分ではない

本時の計画（１６／１８）

（１）本時の目標

本時（題材） の目標	知識及び技能 本時は評価しない。	思考力、判断力、表現力等 ・体調について話す事柄や順序、内容を整理して、説明する。	学びに向かう力、人間性等 ・友達に伝わるように、自分から話す内容を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとする。
学習指導要領 との関連 「何を学ぶか」		国語 ２段階Ａ聞くこと・話すことイ・ウ P271 ２段階Ｂ書くことイ P272	国語 ２段階目標ウ P266

（２）本時で育成を目指す資質・能力の評価規準

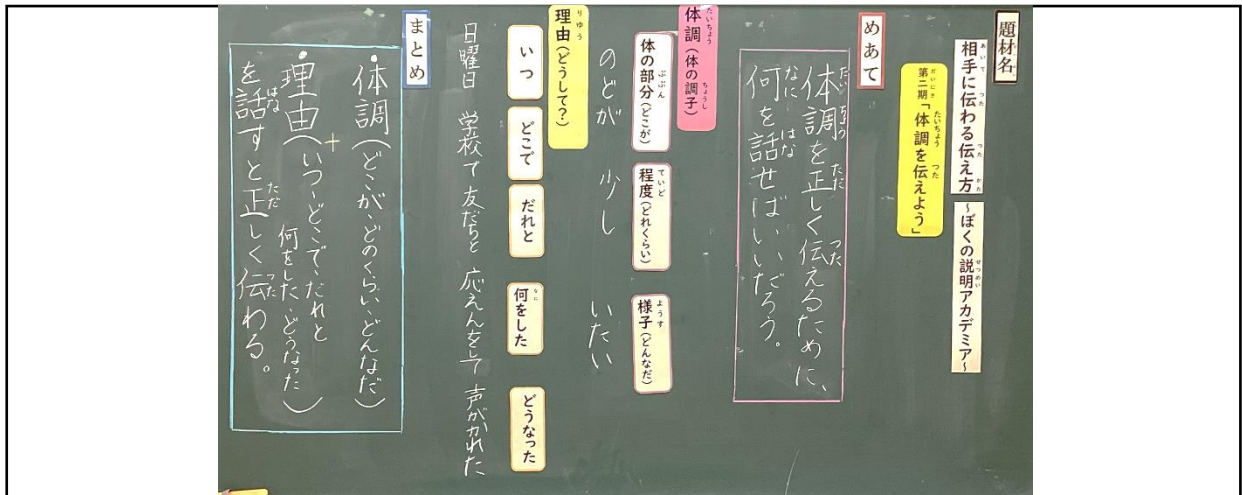
本時の評価規準 「何ができるようになるか」	知識・技能 本時は評価しない。	思考・判断・表現 ・題目を見て、自分で体調に理由を加えたり、話す事柄や順序を考えたりして、説明している。	主体的に学習に取り組む態度 ・友達に題目の内容が伝わるように、自分から話す事柄や語句を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。
----------------------------------	--------------------------------------	---	---

（３）学習の過程（別紙参照）

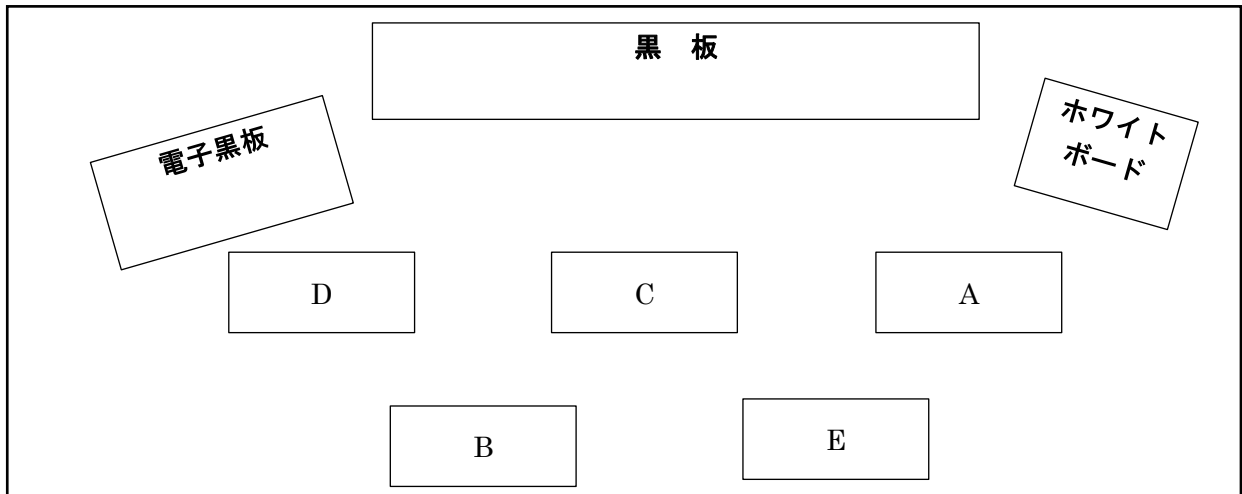
（３）学習の過程

時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準 【】 評価方法 ・生徒への働きかけ、手立て （＊自立活動の視点も踏まえて記載）					
		全体	A １年	B １年	C １年	D ２年	E ３年
9：30 (5)	1 「言葉ノート」でウォーミングアップをする	・生徒の授業に向かう気持ちを整えるため、挨拶をする前に「言葉ノート」を実施する。 ・学習の課題意識をもつことができるよう、漫画形式で疑問点を提示する。 めあて 体調を正しく伝えるために、何を話せばいいだろう。 ・必要な事柄を確認することができるよう、「自分なら何を伝えるか」を問い掛ける。	・言葉の意味や使い方を知り、活用できるよう、漢字練習（２回）と意味、文例を考えることができるワークシートを用意する。	・書字への苦手意識を軽減できるよう、漢字練習ではなぞり書きができるワークシートを用意する。	・様々な言葉に触れ、意味を理解することができるよう、意味と漢字練習（１回）ができるワークシートを用意する。	・言葉の意味や使い方を知り、活用できるよう、漢字練習（２回）と意味、文例を考えることができるワークシートを用意する。	・言葉の意味や使い方を知り、習得できるよう、漢字練習（１回）と意味、文例の言葉を入力することができるワークシートを用意する。
9：35 (1)	2 あいさつをする						
9：36 (6)	3 めあてを知る						
9：42 (25)	4 クイズ！話したことはどれ？ ・題目を知る ・話すことを考える ・出題、回答	・意欲的に学習できるよう、ロイロノートを活用する。 題目を見て、自分で体調に理由を加えたり、話す事柄や順序を考えたりして、説明している。（思） 【発言・ワークシート】 ・話した事柄の必要性を確認することができるよう、「どうして○番のお題を選んだのか」を随時、問い掛ける。 友達に題目の内容が伝わるように、自分から話す事柄や語句を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。（主） 【ワークシート、発表態度】	自分で頭痛の程度を表す語句を加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理し、説明している。（思） ・自分で話す事柄をすべて考え説明できるよう、ロイロノートを活用し空欄のワークシートで整理したり、ファイルを振り返ったりするよう伝える。 友達に体調（頭痛）と理由が伝わるように、話す事柄と語句を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。（主） ・相手の方を見て説明することができるよう、発表は全員の姿勢が整ってから始めるよう全体に伝える。	肩の状態に加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。（思） ・自分で話す事柄を整理することができるよう、体調と理由の二つに整理する欄を分けたワークシートやヒントカードを用意する。 友達に肩の状態と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。（主） ・相手の方を見て説明することができるよう、随時良い姿勢を即時評価したり、発表は全員の姿勢が整ってから始めるよう全体に伝えたりする。	体調（吐き気）に加え、理由「いつ、どこで、何をした、どうなった」を整理して、説明している。（思） ・自分で話す事柄を整理することができるよう、体調と理由の二つに整理する欄を分けたワークシートやヒントカードを用意する。 友達に体調（吐き気）と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。（主） ・自信をもって自分で説明できるよう、机間指導の際は、内容を問い掛け、称賛したり、事前に発表順を伝えたりする。	自分で腹痛の程度を表す語句を加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。（思） ・自分で話す事柄を整理することができるよう、空欄のワークシートで整理したり、ファイルを振り返ったりするよう伝える。 友達に体調（腹痛）と理由が伝わるように、自分から話す事柄と語句を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。（主） ・相手の方を見て説明したり、説明を最後まで聞いたりすることができるよう、随時姿勢や聞き方について即時評価する。	自分で足の状態に加え、理由「いつ、どこで、なにをして、どうなった」を整理して、説明している。（思） ・自分で話す事柄を考えることができるよう、「私はいま～」の説明の一部のみ記載したワークシートやヒントカードを用意する。 友達に足の状態と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。（主） ・自信をもって自分から意欲的に説明できるよう、机間指導では整理した内容を問い掛け、称賛する。
10：07 (8)	5 確認問題に取り組む	・学習の定着を図ることができるよう、養護教諭に話すことを想定して、体調について話す内容を考える確認問題を出す。 まとめ ・体調（どこが・どれくらい・どんなだ） ・理由（いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった）を話すとき正しく伝わる。 ・学習を自分で評価することができるよう、学習の理解度や態度を振り返る時間を設ける。	・体調の説明に必要な事柄と順番を理解しているか確認することができるよう、空欄の回答欄を用意する。	・体調とその理由の話す事柄を理解しているか確認することができるよう、話始めのみを記載した回答欄を用意する。	・体調とその理由の話す事柄を理解しているか確認することができるよう、話始めのみを記載した回答欄を用意する。	・体調の説明に必要な事柄と順番を理解しているか確認することができるよう、空欄の回答欄を用意する。	・体調の説明に必要な事柄を理解しているか確認することができるよう、「体調と理由」のキーワードのみ記載した回答欄を用意する。 ・生徒の本時の様子や理解度に応じて、出題方法を工夫する。
10：15 (3)	6 まとめをする						
10：18 (2)	7 自己評価をする			・評価項目の内容を理解して、自己評価することができるよう、机間指導の際に、一緒に確認したり、問題文を読んだりする。	・評価項目の内容を理解して、自己評価することができるよう、机間指導の際に、一緒に確認したり、問題文を読んだりする。		

(4) 板書計画



(5) 配置図



学習評価及び振り返り

(1) 題材目標に対する個別の評価規準の学習評価の欄に◎○△を記載する。

(2) 本時の目標が達成できたかどうか個別の評価規準の学習評価の欄に、◎○△を記載する。

氏 名 (学年)	本時の目標に対する個別の評価規準	学習評価 ◎○△
A (1)	・自分で頭痛の程度を表す語句を加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。 思	◎
	・友達に体調（頭痛）と理由が伝わるように、自分から話す事柄と語句を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。 主	○
B (1)	・肩の状態に加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。 思	◎
	・友達に肩の状態と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。 主	○
C (1)	・体調（吐き気）に加え、理由「いつ、どこで、何をした、どうなった」を整理して、説明している。 思	
	・友達に体調（吐き気）と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て説明したりしようとしている。 主	
D (2)	・自分で腹痛の程度を表す語句を加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。 思	◎
	・友達に体調（腹痛）と理由が伝わるように、自分から話す事柄と語句を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。 主	◎
E (3)	・自分で足の状態に加え、理由「いつ、どこで、誰と、何をした、どうなった」を整理して、説明している。 思	◎
	・友達に足の状態と理由が伝わるように、話す事柄を考えたり、相手の方を見て伝え合ったりしようとしている。 主	◎

【学習評価】評価基準：◎十分達成した ○おおむね達成した △まだ十分ではない

(3) 題材の評価規準と、本時の評価規準について、学習評価を行う。

題材の評価規準に対する学習評価	本時の評価規準に対する学習評価
・自分の出来事や体調について説明することを通して、主に時間（朝、〇時など）を表す語句を使って、「いつ、どこで、誰と、何をした、感想」について整理して話すことができた。 ・話す相手に伝わるよう、話す内容を整理したり、相手を見て話したりすることが身に付いた。	・最近起きた自分の体調について、体調（どこが、状態）に加え、理由（いつ、どこで、誰と、何をした）を整理して話すことができた。自分の体調の程度を思い出し、程度を表す語句を使うことができた。

(4) 題材全体を振り返る。（教師の支援・手立てを中心に）

○よかった点（有効な支援・手立て等）

- ・タブレット端末でアプリ「ロイロノート・スクール」を活用したことで、書字が苦手な生徒が意欲的に学習に取り組むことができた。
- ・生徒の実態や評価規準に応じて、ワークシートを工夫したことで、生徒自身が一人で学習に取り組むことができた。

●改善点

- ・生徒同士のロールプレイや考えを共有した際に生徒同士で意見交換をする等の生徒同士のやり取りを増やし、学びを深める時間があればよい。
- ・授業を通して、「できた、わかった」と感じられるような、まとめの内容であるといよい。
- ・自己評価を選択式のみならず、選択した理由を記述式で行うと語彙が広がる。